

ふくやま未来づくり応援団メッセージ

伊藤 暢人さん（日経 BP 総研 中小企業経営研究所 所長）



福山を離れて三十余年が経とうとしています。今でも、心を落ち着かせようとするとき、思い浮かべる風景があります。小学校の裏にあった小高い山の頂上から、眼下に広がる家々と田んぼの間を、福塩線の下り電車がオレンジ色の夕日をバックに走ってくる姿。2両編成がガタゴトと動くシーンは、何かホッとさせてくれ、暖かな故郷の空気を思い出させてくれます。

福山は、こうしたのんびりとした温かみのあふれる街です。一方で、「こうなりたい」という強い情熱を感じさせられることが少ないという点が少しさみしい点でした。一言でまとめれば「ポテンシャルは高いのに、パッションが少ない」というところでしょうか。今回、次の30年に向けて市を挙げてビジョンを創っていくという活動は、まさに新しいパッションを生み出そうという試みであると受け止めています。

人口減少、地方衰退、国家の財政問題——、この先、全国各地に避けようのない向かい風が吹いてきます。それをはねのけるだけの強いパッションを持つ街を創る一助になればと考えています。

糸永 直美さん（広島テレビアナウンサー）



みなさま、こんにちは。福山市の広報番組を担当しています
広島テレビの糸永直美と申します。

「ふくやま未来づくり応援団」の1人として、地域の未来ために
活動している皆さんを番組を通して応援していきます！

近い未来では2020年のオリンピックパラリンピックに向け、故郷
の魅力を世界に発信していけたらと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

島田 荘司さん（本格ミステリー作家）



国民自身が憲法を、国のシステムを、そして国家のかたちを創る。
市民自身が自分の町の未来を創る。民主主義の理想型です。

ギリシャ都市文明以来のこの発想に遅刻したわが民は、こうした
市民参加の積極性を苦手にしてきました。今福山市が、かねてより
の理想に挑戦するなら、瀬戸内の一都市の未来は、日本国の未来を
指し示すかもしれませんね。

抑圧された意識は、行政への細かなクレーム発想に向かいがちで
す。新世紀のわれわれは、ポジティブな発想を持ち、もっと大きく、
楽しい未来をこそイメージしたいものです。

中野 裕之さん（映画監督）



私が力を注ぎたいテーマは、中心市街地の再有効化と福山の魅力の
発信。世界でも類をみない、駅が城内にあるなど福山に住んでいると
当たり前のことでも、トピックになるネタは数多くあり、若い人や海
外の観光客に対して発信していく体制を作れたら良いなと思います。
現在の福山は「駐車場だらけの街」という印象ですが、他市の状況も
徹底的に調査して盛り上げていきたいところです。

100人の知恵で、福山がより良い街になるよう私も頑張りたいと思います。

ニコライ・バーグマンさん（フラワーアーティスト ばらのまち福山PR大使）



フラワーアーティストとして活動する中で、ばらは私を最も魅了する花の一つです。このたび縁あって、「ばらのまち福山PR大使」となり、みなさまと100万本のばらの咲き誇る福山を盛り上げていく活動の、お手伝い出来る事に心よりワクワクしております。

先日福山を訪れた際に、市長から「福山市にばらの国際大会を誘致したい!」と聞き、日本を拠点に活動する私にも誘致実現はとても興味深いお話でした。100万本のばらのまち福山が、世界中に知れ渡るよう作品を通して発信して行きたいと思っております。

100人委員会の皆さまもばらのまち福山がもっと魅力的なまちになるよう多くのご意見をお願いします。

野田 正明さん（現代美術家）



ニューヨーク在住も40年目を迎え。その間対外的視野から福山を俯瞰し、活性化へ向けての街作り意識改革について考え続けてきました。

具体的活動として駅前を始め各所へモニュメントを設置しながら、それらをサンプルとして理想的な環境空間を提示し、次世代、後進育成の絵画授業、講演活動を行政、教育機関、一般企業など幅広く続けております。

世界へ躍進する優良企業を多く抱える福山は無限の可能性を内包しています。その可能性をどのように未来に向かって活用するかは、かつてない世界観をこの地に構築するところからだと考えています。

速水 けんたろうさん（歌手 俳優）



NHK「おかあさんといっしょ」第8代歌のお兄さんの速水けんたろうです。皆さま、このたびは福山市の発展に向けてのご尽力、誠に苦労様でございます。私の生まれた街、福山市が希望溢れる未来に繋がっていくことを切に願っております。

応援メッセージというには大変おこがましいのですが、私からのご要望を一つ。それは、文化事業に対する考え方と取り組みの重要性を強く意識して頂きたいということです。

街が活気づくためには、市民の人々がいかに安心してより多くの楽しい時間を過ごせるかどうかが大前提ではないでしょうか。そのためにも、文化事業により一層力を注いで頂けたらと願います。

個人的には、ファミリー向けのイベントを、もっと増やして欲しいと思います。子供たちにとっての明るい未来づくりを目指す上でも、子供たちや家族の笑顔が広がるようなイベント、とりわけ歌やダンスを楽しめる参加型のコンサートを展開することによって、生活と密接な関係にある音楽の力で生まれた元気と勇気はエネルギーとなり、明日への活力となって街そのものの活気へと繋がるのではないかと考えます。

我が故郷、福山市はそんな街であってほしいと願います。

枠組みさえ整えて頂ければ、中身に関しては充分お力になれると自負しております。参考意見としてお聞き頂ければ幸いです。

何かとご苦労も多いかとお察し致しますが、どうか福山市の明るい未来の為に、力を発揮されますようご期待申し上げます。

平岡 拓晃さん（ロンドンオリンピック男子柔道 60kg 級銀メダリスト）



初めまして、柔道の平岡拓晃です。福山の未来図を描いた活動が始まろうとしています。私は高校3年間を福山で過ごし部活動や勉学に励み、特に部活動での柔道では日本一になるために一生懸命努力をした思い出の場所です。福山の3年間のおかげもあり2度にわたるオリンピックに出場させていただきました。北京オリンピック、ロンドンオリンピックでは皆様の暖かい声援が力になりました。ありがとうございました。ここで改めてお礼を述べさせていただきます。私のフィールドはスポーツがメインになってきますが福山市の未来のために私も微力ながら手伝わさせていただきたいと思います。これから福山を盛り上げていきましょう。

山本 浩未さん（ヘアメイクアップアーティスト）



福山に帰るたび、福山の良さに気付かされます。が反対に残念、、、と思ってしまうところも実は多いのです。子供時代を過ごした福山が今の私のベースを作ってくれました。

なにか、なんでもいいから地元の為に尽くしたいとずっと思っていたんです。なので外に出て得た新たな目線を持って福山を見ることで、何かお役に立てることがあるのではないかと考えております。近くには気づかないこと、離れたからこそ見えたことなどを私なりに伝えたいです。

大切な大好きな人たちがいる福山の応援団の一人として頑張ります！